

う迅速な対応を取りますので、よろしくお願ひします。

【注意】

定例会終了後の9月17日午後3時頃、判官館森林公園内で熊の足跡が発見されました。当面の間、判官館公園を除く森林公園内全域の利用を禁止としましたので、ご理解のほどよろしくお願ひします。

5 第27回にいかつぶふるさと祭り

にいかつぶふるさと祭り実行委員会が実施主体の「にいかつぶふるさと祭りについて」町担当課も事務局として取り組みましたので、概要について報告します。

本年の開催が第27回となる「にいかつぶふるさと祭り」は、7月15日、16日の両日においてレ・コールド館第二駐車場を会場として開催されました。

本年の開催は、令和元年の開催以来4年ぶりの開催であり、新型コロナウイルス感染症まん延による行動制限の緩和を待つて開催されたものです。

4年ぶりの開催となる本年は、会場の変更など多くの課題を抱えた中での実施ではありましたが、初日の降雨にも関わらず2日間の来場者数はこれまでの開催とほぼ

同数である1万3000人を数えるなど、多くの町民で賑わい、笑顔溢れるお祭りであったと実感しています。

初日は、降雨により実施できなかったプログラムもあったということですが、事故もなく無事に終えたこと、そして長期間の中断にも関わらず、これまでと同様の賑わいであったことに安堵しました。

お祭りは、地域に賑わいをもたらすが、なにより子どもたちの夏の思い出となる大きなイベントです。開催意義はたいへん大きなものであると考えています。

開催には関係団体、商工会青年部、そして多くのボランティアの方々の協力があつてやり遂げることができたものと考えており、多くの方々がまちづくりを支えていただいていることに感謝しています。

この度の開催は、にいかつぶふるさと祭りの新たなスタートになることと思ひますが、今後は直面する課題を乗り越え、持続する事業として発展して行くことを切に願うとともに、町としても支援する予定です。

の各市町村が高いレベルの環境保護に向け相互協力して行くよう新冠町としての取組みを推進して行く所存です。

7 新冠温泉給水ポンプ破損に係る対応

8月8日早朝、新冠温泉において施設内水道施設の不具合によって施設全体が断水となり、町職員が緊急の施設確認を行った結果、給水ポンプの損傷による送水停止であることが判明しました。

このことから至急、設備事業者への復旧工事の依頼と施設運営会社への状況説明を行い、設備事業者は応急工事としての仮設給水ポンプの取付工事の準備に着手する一方、施設運営会社は、日帰り入浴の中止と飲料水の購入、そして給水タンクによる宿泊客への対応を行いました。

仮設ポンプの設置は、同日午後4時前に終了し、日帰り入浴の再開、また当日の宿泊予約者についても受け入れることが出来ましたが、仮設ポンプの水圧が既存ポンプの7割程度であったため、時間帯によっては水道水の水量が足りなくなる事態も発生しました。8月25日、本来の水圧能力を有

するポンプが納品され、翌日の未明において取替工事を実施し、従来の水圧を回復することができ、この度の給水ポンプ損傷による復旧作業を全て終えました。しかしそれまでの間、水圧の不足などにより施設利用者の方々にはご迷惑をおかけすることもあったとの報告も受けています。急遽の施設トラブルに最善の努力をもって対処しましたが、施設利用者には不便を感じさせる結果になりましたことについて、施設管理者の町としてお詫び申し上げますと同時に、これまでと同様、今後においても施設の維持管理について最善を尽くしていきますので、よろしくお願ひします。

8 令和4年災に係る災害復旧事業

昨年、8月15日から16日に発生しました大雨災害の復旧に関し、全ての復旧工事の発注を終えましたので、その概要を報告します。始めに、土木関連施設の復旧に関して、被災箇所198箇所、復旧などに係る発注額は、8億8631万円となっております。次に、農林水産業、治山、林道、牧野などに関しては、被災箇所66



多くの方々の協力があつた「にいかつぶふるさと祭り」

6 日高山脈襟裳国定公園の国立公園に向けた取組み

日高山脈襟裳国定公園は、昭和56年10月1日に襟裳道立自然公園から国定公園の指定を受け、現在に至つており、これまでの間、希少な生態系の保護など自然環境の保全について北海道を中心に関係市町村が取組みを進めてきました。国立公園に指定されることにより、日高山脈襟裳国定公園は、日本の景勝地の中でも特に傑出した景勝地であるとして、国家レベルで守るべき第一級の自然保護地域として位置付けられることとなります。

このことで、これまで以上に厳格な環境保護が行われ、更には襟裳国定公園の貴重な自然環境は永続的に保護されることとなります。町全体の合計は、被災箇所264箇所、復旧などによる発注額9億1706万7千円となっております。

なお、現在復旧中の11件については、設計変更などに伴い、金額変更が生じる場合があることをご承知おきください。継続工事については、引き続き、早期完成を目指していますので、関係者の皆さまには、ご理解ご協力をお願いいたします。

教育長行政報告

1 小学校統合に係る進捗状況

次年度からの統合に向け、児童およびPTAの交流事業、書類や備品の移転作業、新冠小学校の駐車場整備といった、ソフト面とハード面を統合準備委員会の作業スケジュールに基づき、計画どおり取り進めています。両校の子ども達と保護者がお互いに親しみをもち、安心した気持ちで統合を迎えられるよう、今年度の取組みとして特に大切と考え

続的に保護されることとなります。国立公園化は、現在環境省帯広自然保護事務所で策定を進めている「日高山脈襟裳国立公園計画」がパブリックコメントなどの手続きを経て、環境審議会承認され、国立公園として告示されることで国立公園となります。

これら一連の手続きを終えるのが、令和6年度内とされていますが、早期実現に向け関係機関と連携し、管内各町一丸となって取組みを現在進めています。

また早期指定への取組みと同時に国立公園化が地域産業へ悪影響を及ぼすことのないように公園区域を指定するよう関係機関へ要請するなど国立公園化が自然環境保護ばかりでなく、地域経済へ好影響をもたらすよう十分配慮した上で取組みを進めています。

日高山脈襟裳国定公園の国立公園化への取組みは、国立公園の指定を受けることで終わるものではなく、指定後、持続可能な保護と管理活動、更には環境尊重の意識を地域住民が等しく持つことが大切だと考えます。

国立公園化への取組みが景勝地としての評価を得ることに留まることなく、環境保護について広域で取組む好機となり、日高、十勝

ています交流事業については、5月以降、全学年での交流学习を実施しており、9月以降は給食や昼休み、掃除といった学校生活全体の交流を実施していきます。

また、両校のPTAの交流については、アート体験を通じた交流事業を計画していたところでありまして、札幌から招聘したアーティストが7月初旬から延べ11日間にわたり両校へ訪問し、子ども達が空想した新しい学校をイメージし具現化するワークショップを行いました。

最終の2日間については、朝日小学校を会場として、両校の児童による作品の共同制作と成果発表としてお披露目会を開催し、PTAと地域の方々を含め両日ともに約130名の参加があり、アート体験の他、PTAによる手作り夕食会やレクリエーションも行われました。

当交流事業の実施にあたっては、統合準備委員会のPTA部会が主体的に検討し取組みを進め、実施に至るまでに多くの協議を要しましたが、意見交換を重ねていく過程においても互いに打ち解ける有意義な機会になったと考えています。

これら小学校統合に係る進捗状況については、これから保護者や地域への説明会を開催し、丁寧にお伝えし、来年度の小学校統合に